

アルフレッサ ヘルスケアからの新提案! 「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」

## 調剤薬局と親和性高い「硝酸態窒素ゼロ」の天然水 リピーターが生まれ調剤薬局の利益商品に成長

ミネラルウォーターを展開するケイ・エフ・ジー(島根県浜田市)が製造し、ヘルスケア商材を中核とした卸売業・アルフレッサヘルスケア(東京都中央区)が流通している「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」が、調剤薬局業界から大きな注目を集めている。調剤薬局に勤務する薬剤師の重要な仕事として「服薬指導」がある。当然、服薬には「水」が付きものであり、患者の中にはその水にこだわっている人たちも存在する。「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」の第一の特徴として「硝酸態窒素ゼロ」が挙げられ、硝酸態窒素は化学肥料や農業、家畜排泄物、生活排水によって河川や地下水が汚染されることで生成される物質だ。実は、現在流通している数多くのミネラルウォーターでさえ、これが検出される実態がある。「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」は、硝酸態窒素が検出されない希少なミネラルウォーターであり、積極的に販売する調剤薬局では、購入者の多くが「飲みやすい」「美味しい」とリピーターとなっている。これは消費者から高く評価されていることの変であると言える。医薬品の供給だけではなく、「健康」を付加価値として提供することが期待される調剤薬局において、非常に親和性の高い商品として「調剤薬局ジャーナル」は注目していた。このコーナーでは、「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」を紹介するとともに、アルフレッサヘルスケアの勝木尚社長と帝京平成大学薬学部の井手口直子教授の対談で、同品の可能性を展望する。



### 希少な「硝酸態窒素ゼロ」のアルカリ天然水

「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」は島根県西部に位置する金城(かなぎ)町が採水地のミネラルウォーターで、同町は森林面積が84%と豊かな自然が育まれており、地元では昔から良質の温泉地帯として親しまれている。

その恵まれた環境の中、大自然の濾過作用により「硝酸態窒素」などの有害物質を含まない高品質な「非加熱」アルカリ天然水が作り出される。

また、希少なミネラルである「炭酸水素イオン」や、美容成分として注目されている「シリカ」や「サルフェート」など天然の希少なミネラルもバランス良く含んでいるという特徴がある。

### 「硝酸態窒素」とは?

ここで「硝酸態窒素」について触れておきたい。硝酸態窒素は、化学肥料や農業、家畜排泄物、生活排水などにより河川や地下水が汚染されることで生成される。

人間を含む動物が硝酸態窒素を大量に摂取すると、体内で腸内細菌により亜硝酸態窒素に還元され、これが体内に吸収されて血液中のヘモグロビンを酸化して、メトヘモグロビンを生成し、メトヘモグロビン血症などの酸素欠乏症を引き起こす可能性があるうえ、2級アミンと結合して発がん性物質のニトロソアミンを生じる問題が指摘されている物質である。

現在、ペットボトルのミネラルウォーターは「安心・安全」が謳われているものの、日本を含めた世界中で採水地の汚染が進んでおり、数多くのミネラルウォーターから硝酸態窒素が検出されているという現状がある。

硝酸態窒素の測定ができる市販の簡易テストキットを用いて、国内外産で市販されているミネラルウォーターと水道水を検査した結果、検出されなかったのが「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」のみだったという結果も出ており、いかに同品が「安心」「安全」「高品質」であるかが証明された一例であると同時に、同品が硝酸態窒素を検出しない希少な

ミネラルウォーターであることが判明している。

### 良い水の条件とは? 「天然」「非加熱」「pH8.0~8.6の弱アルカリ性」

アルフレッサヘルスケアによる資料に目を通すと、東京医科歯科大学名誉教授・人間総合科学学人科学部教授で医学博士の藤田紘一郎氏は、良い水の条件として「天然」「非加熱」「pH8.0~8.6の弱アルカリ性」の3項目を挙げている。

「天然」とは、雨や雪解けが鉱石層を通過する際、ミネラルなどの成分がバランス良く溶け込んだ水としている。人体は疲労すると代謝が悪くなり、血液や体液が酸性に傾いてしまうため、そうしたときは「pH8.0~8.6の弱アルカリ性」の水が良いとされている。

さらに「非加熱」も重要なファクターである。それは加熱すると酸素やミネラルが少なくなる上、有害物質が入っていた場合は濃度が高まる危険性が指摘されており、その一方、非加熱の水は成分が壊れることなく、体に取り入れることができる。湧水や伏流水、井戸水は地層の浄化作用がほとんど期待できないことから、ミネラルウォーターの多くは加熱による殺菌処理が施されているのが実情だ。

「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」は、地下300mの花崗岩下から数百年~数千年の歳月を経て、幾重もの地層で濾過され採水された地下水(鉱泉水)であるゆえ、公的機関の検査結果でも有害物質は全く含まれておらず、非加熱のまま飲用できるのだ。

こうしたことから、良い水の

条件は「天然」「非加熱」「pH8.0~8.6の弱アルカリ性」とされており、さらに「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」は、これに「硝酸態窒素ゼロ」という差別化要素が盛り込まれている。

### ミネラルウォーター製造会社7%のみ認証取得の製造工場

「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」を製造するケイ・エフ・ジーの製造工場にも注目したい。同社の第二工場(同品の製造工場)は、食品安全システム「FSSC22000」の認証を取得しており、驚くことにミネラルウォーター製造会社は日本全国で200社ほどあると言われていたが、現在これを取得しているのは14社(全体の7%)と、非常に限られた企業のみが取得している認証となっている。

FSSC22000は、ISO22000の内容にFSSC独自の追加要求事項を統合した国際規格であり、追加事項に関する認定も厳しく管理されている世界的なスキームの1つであるが、ケイ・エフ・ジーは2014年に認証を取得した。

同社は「非加熱のミネラルウォーターをボトルングするための無菌全自動システムと、国際基準をクリアした管理と設備で『安心・安全』をお届けします」との姿勢で、日々「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」の製造に向き合っている。

### 環境省も「未来へつなごう」と啓発する硝酸態窒素への対策

製品名である「薬剤師のおすすめ(11面下段に続く) ▶



取り扱う保険調剤薬局の輪が広がっている



## アルフレッサ ヘルスケアからの新提案! 「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」

特別対談 アルフレッサ ヘルスケア・勝木尚社長×帝京平成大学 薬学部・井手口直子教授

## リピーターを生む硝酸態窒素ゼロの高品質な天然水

—ヒット商品は作り手と売り手の思いが重なったときに生まれる。「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」は、アルフレッサ ヘルスケア・勝木尚社長の「安心・安全かつ、美味しい水を調剤薬局・薬剤師から広げてもらいたい」という熱い思いがスタート地点だった。アルフレッサ ヘルスケアの取り組みを知った全国各地の薬局経営者や薬剤師が、この思いに賛同。現在では店頭に根付き、多くのリピーターが誕生している調剤薬局も少なくないという。帝京平成大学薬学部 教授であり、ヘルスケア業界で著名な井手口直子氏も「飲料水における硝酸態窒素の現状を知ったときは衝撃でした」と話し、自身が所有する薬局でも「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」を導入し、患者や来店客に推奨している。今回、勝木社長と井手口教授に対談をお願い、「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」について、物販に取り組んでいく薬局および薬剤師の展望について聞いた。

(聞き手=調剤薬局ジャーナル編集部・佐藤健太)

## 安心・安全かつ、美味しい水

## 勝木社長の思いから始まった「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」

—現在、アルフレッサ ヘルスケアの専売商品である「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」が一部の調剤薬局で積極的に推奨販売されていますが、そもそも、なぜ天然水に注目ののでしょうか?

勝木社長 ナグモクリニク総院長・南雲吉則先生から、硝酸態窒素の存在と普段から飲む水についての大切さを教えていただいたのがきっかけです。お会いした際、南雲先生は10本ほどのミネラルウォーターと水道水を持ってこられ、硝酸態窒素のバックテストをしたのですが、水道水はもちろん、有名ブランドのミネラルウォーターまで硝酸態窒素を検出するという衝撃的な結果となりました。

その後、健康診断である病院に行ったのですが、そこで提供された水

を持ち帰り、同じようにバックテストをすると全く硝酸態窒素を検出ませんでした。

そのことに驚き、その水を製造するケイ・エフ・ジー(島根県浜田市)というメーカーに連絡を入れ、「当社の専売商品として販売させて欲しい」と伝えました。これが「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」のスタートです。

—医薬品を服用するにあたって、水は不可欠な存在ですね。

勝木社長 それだけではなく、人間が生きていくためには水が最も大切と言われています。

「日本の水はとても品質が良い」と言われていますが、Faostat(国際連合食糧農業機関統計データベース)の調べ(主要国における農業集約度ランキング)によると、耕地面積当たりの有効成分換算農業使用量は中国・韓国に次いで日本が高く、その一方でヨーロッパやアメリカは



勝木尚社長(右)と井手口直子教授

## 名水地・島根県西部の金城町が採水地

かなり低いというデータが出ており、これが水質の悪化に大きな影響を及ぼしています。

「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」は日本でも有数の名水地である島根県西部の金城町(かなぎちょう)が採水地であり、「硝酸態窒素ゼロ」はもちろんのこと「非加熱」「pH8.1アルカリ性」という「良い水の条件」が揃っており、非常に安全性が高い水となっております。

## 購入客は「とてもおいしい」と高く評価

—井手口先生は硝酸態窒素については、どのようにお考えでしょうか?

井手口先生 硝酸態窒素の存在を知ったときは衝撃を受けました。現在の生活者は、蛇口から出た水道水を(12面に続く) /

↳ (10面から続く)

アルカリ天然水」というネーミングにも注目したい。関連当局への確認を実施済みであり、薬機法・健康増進法・景品表示法を遵守した上のネに効能・効果等の表現がないこと。硝酸態窒素府検出であることから『安心・安全な水』として薬剤師・登録販売者の医薬品を販売できる専門家により販売を行うということであればネーミングとして問題はない」とされた。

また、硝酸態窒素に関して環境省がパンフレットや様々な媒体を通じ「未来へつなごう私たちの地下水」として硝酸態窒素汚染をいかに防いでいくか啓発しているものの、まだまだ認知されていない現状がある。関係当局は、「薬剤師のおすすめア

ルカリ天然水」のパッケージに「硝酸態窒素ゼロ」の記載とともに、硝酸態窒素が紹介されていることは「環境省の啓発を促す一助となり、薬業界ならではの有意義な啓発になり、硝酸態窒素ゼロというミネラルウォーターでは、世界的に希少な品質の商品を提供することは素晴らしいこと」と位置付けている。

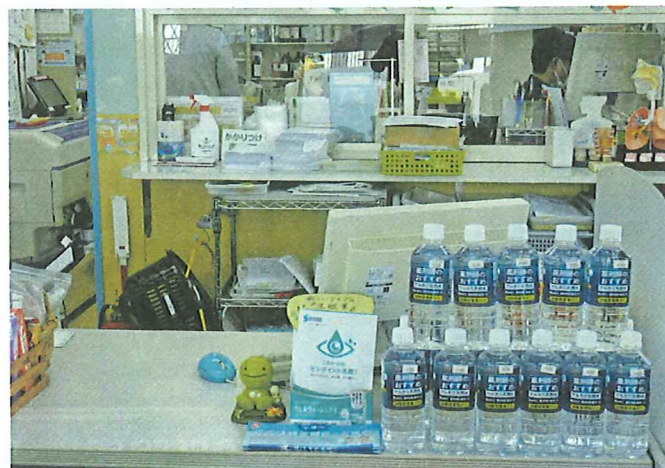
アルフレッサ ヘルスケアで専売商品を担当する事業開発部・松本則行部長は、「必ず商談時、薬剤師さんに正しい商品説明を実施し、販売許



松本則行部長

可・賛同・推奨を得た店舗にのみ取り扱いをお願いしています」と「薬

剤師のおすすめ アルカリ天然水」の営業姿勢を語る。



カウンター前に陳列することで処方せん患者に推売しやすい



## アルフレッサ ヘルスケアからの新提案! 「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」

特別対談 アルフレッサ ヘルスケア・勝木尚社長×帝京平成大学 薬学部・井手口直子教授

## 製造工場は国際規格「FSSC22000」認証取得



井手口直子教授

用水として常用していただいたり、お薬を服用する際にご利用いただいています。もちろん医薬品ではないので、効能効果を訴求することはできませんが、リピーターが生まれていますので、「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」を納得してお買い上げいただいている表れだと感じています。また、安心して長くお使いいただけたらと言うことは、薬局や薬剤師に対する信頼感が高まるこ

ことを確認しました。また、環境省にも訪問し、この水についてご説明いたしました。その際に、環境省としても硝酸態窒素から水を守るために取り組んでいることを教えていただき、その活動の啓発にもなると喜んでくださいました。

——井手口先生は、このネーミングについてどのようにお感じになりますか？

井手口先生 製品名



勝木尚社長

## 購入者の多くがリピーターに!

▼ (11面から続く)

直接飲用しない傾向にあります。ミネラルウォーターや浄水器を介した水を日々飲んでいました。そこにも含まれていることを知ったときは驚きでした。

ですから、私が所有する薬局においても硝酸態窒素の有害性と、それが含まれていない安全な水があることを情報発信しており、ぜひ、赤ちゃんや体の弱い方にお使いいただきたいと思っています。

購入されたお客さまからは「とてもおいしい」と声が上がっています。やはり安心・安全も大切ですが、長く使っていただくためには「おいしい」という要素がとても重要になってきます。ご購入されたお客さまの多くがリピーターになっており、飲

むにつながります。

——製品名に「薬剤師のおすすめ」と入れた理由をお聞かせください。

勝木社長 水は「命の根源」ですので、健康を第一の売り物とする薬局や薬剤師にこだわっていただきたい、服薬のクオリティを高めてもらいたいということで「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」を発売しました。そうした意味で製品名に「薬剤師のおすすめ」と入れました。

表示に関して一抹の不安があったため、健康増進法や景品表示法等と照らし合わせ、関係当局に全て確認を取らせていただき、「医薬品ではないこと」「効能効果等の表現がないこと」などを条件に表示が可能であ

## 安心感得られる「薬剤師のおすすめ」

に「薬剤師のおすすめ」を入れるということは、薬剤師側からの製品に対する信頼も重要になってきます。アルフレッサ ヘルスケアさんは、この水についてご理解・ご納得している薬局のみに配荷していると聞いておりますので、販売体制についての問題はないと思います。

これまで様々な水製品が上市されてきましたが、その中には怪しい製品もありました。「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」に関しては、国際規格に認証された工場で製造されており、お客さまに対して「どういった意味で安心なのか?」という情報が、きちんと薬局に提供されますので、説明する際にも活用することができます。

「薬剤師のおすすめ」という文言が入っていることに対して、お客さまは安心感を得られると思います。お子さんや高齢者、治療中の方が安心してお飲めできる水が薬局にあるのは大変ありがたく思います。

高品質な水だからこそ非加熱が可能

勝木社長 井手口先生からもおっしゃっていただいた通り、「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」を製造するケイ・エフ・ジーの工場は国際規格「FSSC22000」の認証を取得しています。取得するハードルが非常に高いため、ミネラルウォーター製造会社は日本全国に約200社ありますが、「FSSC22000」を認証取得しているのは約7%の14社しかありません。

また、「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」は一般財団法人日本食品分析センターで分析試験を実施したのですが、硝酸態窒素などの有害物質が一切検出されません。世の中には「非加熱は危険だ」と認識している人もいますが、「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」は有害成分が含まれていませんので、全く問題ありませんし、むしろそのおかげで、ミネラル成分の変化がなく、自然の美味しさがそのまま残ります。

(13面に続く) ▶



保険調剤薬局と親和性が高い「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」

## アルフレッサ ヘルスケアの専売商品とは?

アルフレッサ ヘルスケアは「THMH (トータル・ヘルスケア・マーチャンダイジング・ホールセラー)」を目標に掲げ、予防から未病までに対応し、超高齢社会を突き進む日本において「生涯現役社会」を実現させようと考えています。

同社は数多くの専売商品を販

売していますが、最大の魅力は、①エビデンスが豊富でオンリーワン商品、②季節性が無く定番で育成、推奨販売ができる③流通でしっかりと利益が確保できる④特許、製法、特定産地でしか入手できないなどマネの出来ない商品という4つの特性を持っています。

「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」はアルフレッサ ヘルスケア(株)の専売商品です

アルフレッサ ヘルスケアからの新提案! 薬剤師のおすすめ アルカリ天然水

# “良い水の条件”の全てをクリアする希少な天然水

〳 (12面から続く)

まだお取り扱いのない調剤薬局さまにはぜひ一度お飲みいただき、安心・安全で高品質な「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」を実感していただきたいと思います。

## 物販へのチャレンジ望む 調剤薬局が増加

——勝木社長は、現在の調剤薬局業界をどのように見ておられますか。

勝木社長 私はアルフレッサ ヘルスケアの社長ですが、3年前から親会社であるアルフレッサホールディングスの取締役も兼任していますので、医療用医薬品メーカーや調剤薬局の皆さまと接する機会が増えました。

これまで保険調剤薬局業界は、売上高が右肩上がり、さらに店舗数も58,000軒と急伸させ、順調に市場を伸ばしてきました。しかし約2年前から、薬局経営者の方々から「営業利益が少しずつ落ちてきた」「物販にチャレンジしたい」という声が増えており、それが年々増加しているように思います。

保険調剤薬局経営者の方々、処方箋調剤だけを生業にしていることに関して、危機感を覚えています。今までメインの仕事が処方箋調剤だったため物販に馴染みがない薬剤師さんが多いという現状があります。

保険調剤薬局を利用する方々は体の調子が悪いケースが大半ですが、これからは健康でも気軽に来店してもらえるような相談薬局として、地域の方々に寄り添っていくことで信頼を勝ち得ていくことが重要だと考えています。そこで重要になるのは物販機能だと位置付けています。

今回紹介した「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」は、まさに“調剤薬局向け”と言っても過言ではない

商品であり、「薬剤師さんが自信を持って勧められる商材だ」と、当社は確信を持っています。

井手口先生に「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」をご紹介した際に、「これは大変素晴らしい」とご支援をいただき、私自身も勇気を持って調剤薬局さまにご提案することができました。現在コロナ禍ですが、着実にその輪が広がっていきいます。

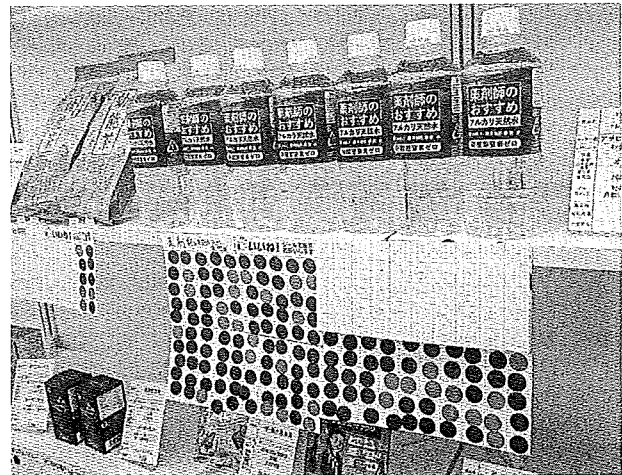
## セルフケアに前向きな 薬剤師が増加

——井手口先生は薬局の物販機能強化について、どのようにお考えでしょうか。

井手口先生 日本は医薬分業を推進した結果、処方箋調剤を主な業務とする薬局が増加していききました。

そうしたことで医療用医薬品を中心としたファーマシューティカルケア（薬物療法の質を上げるケア）に薬剤師の意識が向いていった訳です。大学での薬学教育もそれが中心ですから保険調剤薬局の現場では、「私たちは処方箋調剤と服薬指導がメインの仕事。それに加えて物を売るなんて」と物販をネガティブに考えてしまう薬剤師が多くいます。

ですが、昨今はセルフケア（予防）を重要視する生活者が増えてきており、未病予防としての健康サポートも薬剤師の仕事であるという方向に向かって、特に若手の薬剤師の意識が少しずつ変化しているように感じます。「薬剤師法 第一条」に「調剤、医薬品の供給その他薬事衛生をつかさどることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もつて国民の健康な生活を確保するものとする」と書かれているように、ファーマシューティカルケアだけではなく、セルフケアに前向きに取り組む薬剤師



アルフレッサ ヘルスケア主催の展示会でも大々的に紹介され、来場者からも大いに注目された



が増えてきています。勝木社長がおっしゃるように、元気なときから薬局を活用していただくことで生活者のQOLは高まっていくからです。

こうした意味合いで医薬品だけではなく、お客さまが今以上に健康になるためのアドバイスをしていくのは、薬剤師として当然のことであり、それに関わる商品を提供していくことは薬剤師の仕事としてごく自然なことであると私は位置づけています。

ですので、アルフレッサヘルスケアさんが「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」などを通じて提案する「薬局の物販機能強化」については、薬局や薬剤師だけではなく、何よりもお客さまのためになることだと考えています。

——これまでアルフレッサヘルスケアは専売商品の開発に注力してきました。

勝木社長 「薬剤師のおすすめ アルカリ天然水」にも同じことが言えますが、「本当に良い商品」「隠れた名品」を卸売業としてスポットライトを当て、表に出してあげたいという

思いが第一にあります。そうした商品をセレクトしたのが当社の専売商品であると言えますね。

井手口先生 健康サポートとして、薬剤師はお客さまがさらに健康になるような提案を医薬品以外の部分でもっと取り組んでいってもいいわけです。ただ、ドラッグストアのような品揃えをすることはスペース的にも難しく、その限られたスペースの中でいかに良いものを取りそろえるかが何よりも大切です。まず来局され方とコミュニケーションをしっかりとって、お客さまの健康ニーズをキャッチして、ニーズにあった商品を解りやすく説明できる薬剤師でなければなりませんし、そのために商品についてもきちんと勉強し、取り扱う商品を品定めしていかなければなりません。

勝木社長は「良い商品をどんどん世の中に出していきたい」と情熱を持っており、私はとても素晴らしい考え方だと思いますので、今後もぜひ期待したいと思います。

——本日はありがとうございました。



OTC 医薬品と同じ棚に陳列すれば併売の提案もしやすい